

## ◆ 雨の強さ、降り方と災害の危険性など

次の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、気象台から警報が発表される前や市が高齢者等避難などを発令する前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

	やや強い雨 10～20mm未満	強い雨 20～30mm未満	激しい雨 30～50mm未満	非常に激しい雨 50～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足もとがぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くと注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難が必要。	●土石流が起こりやすい。	●雨による大規模な災害の発生のおそれが強く、厳重な警戒が必要。

表に示した雨量と同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

## ◆ 土砂災害警戒情報とは



土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、滋賀県と彦根地方気象台から共同で発表される情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入手して避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、避難行動をとってください。

滋賀県 土木防災情報システム

<https://shiga-bousai.jp/>

滋賀県 防災 検索



▲土砂災害の危険度情報は、滋賀県がインターネットで公開している「滋賀県土木防災情報システム」で確認することができます。

※上記URLか、右のQRコードからご確認ください。

## ◆ 土砂災害から身を守るために

災害では早めに避難することが大事ですが、どうしても避難場所への移動が困難なときは、次善の策として近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

避難場所等への移動がどうしても困難な場合は…



※特別警戒区域内に位置する場合は、必ず自宅外への避難を行ってください。

3つのポイント

- 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認
- 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意
- 危険を感じたら早めに避難

## ◆ 土砂災害とは?

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。ご自宅等が、土砂災害警戒区域や土砂災害危険個所に入っている場合は、避難時にはご自宅等から離れた安全な場所への避難(立退き避難)を行ってください。また、土砂災害には前兆があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、市役所・支所・消防のいずれかにご連絡ください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、確認しておきましょう。

### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

急傾斜地特別警戒区域

急傾斜地警戒区域

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

### 土石流

土石流特別警戒区域

土石流警戒区域

降雨によって、山や川の土砂や立木などが、水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。流下する速度が速く、大きな力を持つため、流れに対して垂直方向へ避難することが重要です。

### 地すべり

地すべり特別警戒区域

地すべり警戒区域

降雨により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだす現象です。

## ! こんなときは要注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

五感	移動主体	がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
視覚	山斜面がけ	●がけに割れ目がみえる。 ●がけから小石がパラパラと落ちる。 ●斜面がふくらみだす。	●溪流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったたりする。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が濁りだす。	●川の水が異常に濁る。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ●土砂が流出する。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさ急減する。
	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が混じりだす。	●樹木が傾く。
	その他	—	●溪流内に火花が出る。	●家や擁壁(ようへき)に亀裂が入る。 ●擁壁や電柱が傾く。
音		●樹木の根が切れる音がある。 ●樹木の揺れる音がある。 ●地鳴りがする。	●転石のぶつかり合う音がある。 ●山鳴りがする。 ●地鳴りがする。	●樹木の根が切れる音がある。
におい		—	●腐った土のにおいがする。	—

少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

### 早めの避難を心がけましょう

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。市からの避難情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。なお、豪雨などで避難所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や2階などの少しでも安全な場所に移動しましょう。

※土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)発表後、大雨による土砂災害の危険度が非常に高まった時に県と気象台が協議の上、市町単位で発表されます。

詳しくは…

滋賀県 防災 検索

▼平成18年3月に発生した地すべり災害(朽木村井)

